

第4学年算数科学習指導案

日 時 平成17年10月28日(金) 5、6校時
 児 童 1組：36名 2組：35名 3組：35名
 指導者 1組：吉田富士子
 2組：日向 速人(T1) 井出 敏之(T2)
 3組：八幡真由美(T1) 井出 敏之(T2)

1 単元名 分けた大きさの表し方を考えよう - 分数 - (東京書籍 新しい算数 4上)

2 単元について

(1) 教材について

「数と計算」の領域のねらいは、整数、小数及び分数の意味やそれらの数の表し方について理解し、数についての感覚を豊かにすること、整数、小数及び分数の加減乗除の意味について理解し、計算のしかたを考え、適切に用いられること、学習活動を通して数学的な考えを高めたり、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づいたりできるようにすることである。本単元では、そのうち初めて分数について扱う。分数は、単位量に満たないはしたの量を表すことのできる数であり、その分母によって任意の単位を作るというよさをもっている。

児童は、小数の学習を通して単位量に満たないはしたの量を表す表し方を学んだ。また、日常生活の中で、ある大きさを半分にしたたり4つに分けたりした経験がある。しかし、既習事項であるもとの量を10等分する考えとは違い、任意の単位分数を自分で作る分数の学習は児童にとって困難を感じる部分でもあろう。

本単元では、小数と同様に、はしたの量を数値化することの必要性を理解することが大切である。そのために、単位量を何等分して単位分数を作ったか意識させていきたい。単位量を任意に等分することについては児童に操作活動を行わせ、実感できるようにしたい。

また、分数の意味は、その観点の置き方によって様々なとらえ方ができる。

$\frac{2}{3}$ を例にとると次の通りである。

3等分したものの2つ分の大きさを表す。

$\frac{2}{3}l$ 、 $\frac{2}{3}m$ のように、測定したときの量の大きさを表す。

1を3等分したもの($\frac{1}{3}$)を単位とし、その2倍の大きさを表す。

AはBの $\frac{2}{3}$ というように、Bを1としたときのAの大きさの割合を表す。

整数の除法「 $2 \div 3$ 」の結果(商)を表す。

本学年では、分数の導入期であり ~ などの考え方を学習する。それぞれの意味について分数を「数」としてとらえられるようにしたい。

(2) 児童について レ レディネステスト(%は正答率)

事前アンケート・レディネステスト	学年平均
算数の学習はわかる	89 %
算数の学習は楽しい	67 %
自分で問題を解こうとしている	91 %
自分の考えを友達に伝えようとしている	71 %
レ：正方形の面積の半分(等分)をとらえる(3つ全てを選択できた)	17 %
レ：小数で表されたはしたの量を数直線に表す・数直線の読みとり(4問正解)	93 %
レ：小数の加減計算(4問正解)	54 %
レ：<未習問題>(分数を図に表す)	84 %

< 1組 >

これらのデータや日常の観察からも、算数の学習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことがわかる。しかし、発言に関しては、自分に自信をもてる児童が少なく、間違ふことを恐れ、活発に発表し合ったりお互いの考えを認め合ったりする態度がみられない児童もいる。基礎的な事項をしっかりとおさえて、自分の考えを発表する場を多くしたい。それにより、発表する意欲をもたせ、活発な話し合いにつなげ、数学的な考え方を伸ばしていくようにしたい。

レディネステストの結果から、面積を半分に分ける場合に多様な考えをもてる児童は少なかったが、0.1をもとにして小数や整数の大きさを正しくとらえられている児童は多いことがわかった。

一斉指導が困難で個別指導が必要な児童が4名いる。

< 2組 >

これらのデータや日常の観察からも、算数の学習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことが分かる。しかし、計算や作業、発表の様子、学習の理解度、習熟度から見ると個人差が非常に大きい。そこで、年度当初から、TT指導や少人数指導により、個への支援に努め、学習内容の定着が図られるよう心がけている。

レディネステストの結果から、面積を半分に分ける場合に多様な考えをもてる児童は少なかったが、0.1をもとにして小数や整数の大きさを正しくとらえられている児童は多いことがわかった。

一斉指導が困難で個別指導が必要な児童が5名いる。

< 3組 >

これらのデータや日常の観察からも、算数の学習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことが分かる。児童は、友達の発表から学んだ内容を進んで取り入れようとする前向きな態度が身に付いてきている。発言に関しては、特定の児童になりがちで、分かっているも挙手に消極的な児童が目立つ。そのため、自分の考えを整理し、ある程度自信をもって挙手できるようにグループやペアで意見を交流する場を設けながら指導にあたってきた。

レディネステストの結果から、面積を半分に分ける場合に多様な考えをもてる児童は少なかったが、0.1をもとにして小数や整数の大きさを正しくとらえている児童は多いことがわかった。

一斉指導が困難で個別指導が必要な児童が4名いる。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、日常生活で一つの物を分けた経験をふまえて、実際の操作を基に経験を数学的に見直す次のような活動をさせることが重要と考える。

- ・あるものを等分する活動
- ・長さやかさを表す分数を図で表す活動
- ・数直線上で数の大きさを表す活動

単位量を何等分して単位分数を作ったか操作や作業を通して意識させながら、分数の仕組みを考えさせたい。児童が分数を、等分するときの分割操作というような狭義にとらえないように、テープなどを使って量としての分数を理解させるとともに、分数を数直線に表し「数」として理解できるように指導したい。真分数、帯分数、仮分数については、全体を1と置き換えて等分した数にとらえさせ、それぞれの分数の特徴を十分に理解させるように努めたい。

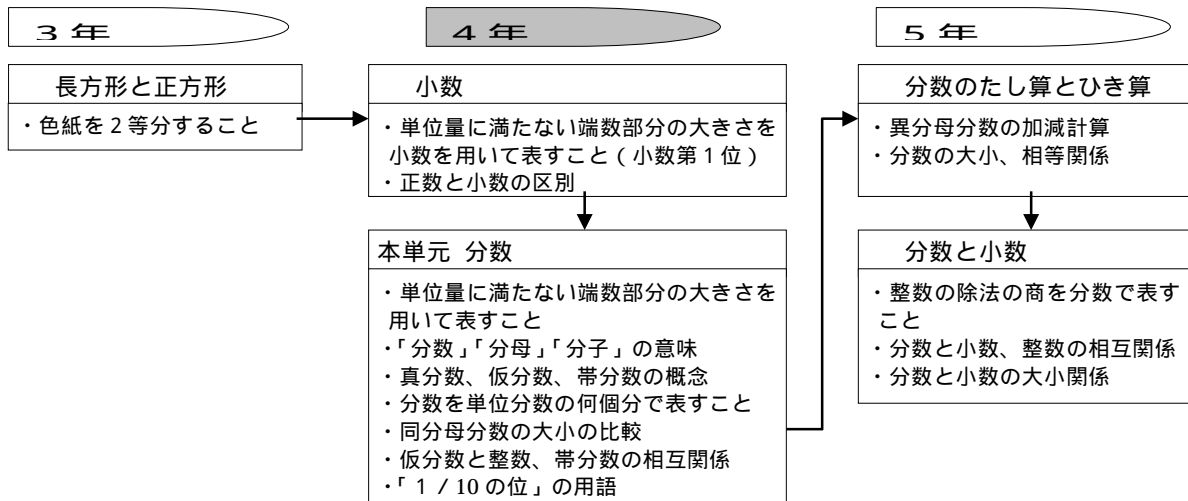
ペア学習やグループ学習の中で、分数の表し方について自分の考えを整理したり、表現方法の違いに気づかせたり、分数の表し方を確かめ合ったりする活動を取り入れたい。

3 単元の目標

分数の意味とその表し方について理解するとともに、端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すときに分数を適切に用いる能力を身につける。

- 【関心・意欲・態度】 分数を用いると、端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表せるよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。
- 【数学的な考え方】 分数は単位量を何等分かした1こ分を単位として、その何こ分で表すことを筋道立てて説明できる。
- 【表現・処理】 端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを分数を用いて表すことができる。
- 【知識・理解】 分数の意味や表し方を理解する。

4 教材の関連と発展



5 単元指導計画（12時間） 【 】内：考えられる算数的活動

小単元	時数	学習内容および算数的活動
・プロローグ 1. はしたの大きさの表し方	1 3組本時	・分数を用いた表し方 ・1mを3等分した1こ分を1mの「 $\frac{1}{3}$ 」といい「 $\frac{1}{3}$ m」と書くこと 【実生活との関連に配慮した活動 調べる活動】
	1	・分数は、等分してできた単位の大きさの何こ分で表すこと 【調べる活動】
	1	・液量について、端数部分の大きさを分数で表すこと ・「分数」「分母」「分子」の用語 【表し伝える活動】
2. 分数の大きさの表し方	1	・分数を数直線上に表し、分数の構成や大小 ・単位量の大きさを分数で表すこと 【表し伝える活動】
	2	・単位量をこえる大きさを分数で表すこと 【見つける活動 調べる活動】
	1	・「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味 【表し伝える活動】
	2	・単位のつかない分数 【調べる活動】
	1 1組本時	・仮分数と帯分数の構成や相互関係 【表し伝える活動】
	1	・分数と小数の関係 ・小数第一位「 $\frac{1}{10}$ の位」を知ること ・整数・小数・分数の弁別 【見つける活動】
まとめ	1	・同分母分数の加減 【発展させる活動】
	1 2組本時	{ やってみよう } 分数ものさしをつくり、長さをはかる 【発展させる活動】
	1	・たしかめよう ・「おもしろ問題にチャレンジ！」 【ゲーム的要素を生かした活動 発展させる活動】

6 本時の指導 1組

(1) 目標

数直線をもとに仮分数と帯分数の構成や相互の関係について理解する。

(2) 本時の評価規準

	具体的な評価規準	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力をようする子への支援
表現・処理	仮分数と帯分数の大きさを比べることができる。	・ 仮分数、帯分数を、単位分数のいくつ分として見ることで、大きさを比べることができる。	・ 仮分数と帯分数の大きさを比べることができる。	・ 数直線を手がかりに単位量のいくつ分かを考えさせ大きさを比べさせたい。仮分数を帯分数になおしたり、帯分数を仮分数になおしたりさせたい。
知識・理解	仮分数と帯分数の関係を理解している。	・ 仮分数、帯分数を、単位分数のいくつ分として見ることで、お互いの関係を理解することができる。	・ 仮分数から帯分数へのなおし方や、帯分数から仮分数へのなおし方を理解することができる。	・ 数直線や図を手がかりに仮分数と帯分数の関係を理解させたい。

(3) 研究主題とのかかわり

【表し伝える活動】

$\frac{7}{3}$ と $2\frac{2}{3}$ の大きさを数直線や図で比べたり、帯分数や仮分数になおして比べたりして言葉や数直線や図で表現し、それを友だちに伝え合うことで仮分数と帯分数の関係の一層の理解をはかりたい。

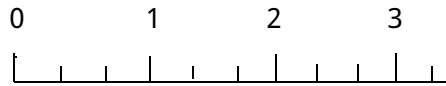
支援としては、数直線のプリントや、ヒントカードを用意したい。

(4) 展開

段階	学習内容	留意点	支援	評価
つ か む (7分)	1 前時想起 仮分数と真分数の大きさ比べをし、前時までの学習を想起する。	・ 単位分数のいくつ分という考え方を強調する。		
	2 問題提示 $\frac{7}{3}$ と $2\frac{2}{3}$ ではどちらが大きいでしょうか。	・ $\frac{7}{3}$ は仮分数、 $2\frac{2}{3}$ は帯分数ということ想起させる。		
	3 課題把握 仮分数と帯分数の大きさの比べ方を考えよう。			

- 4 見通し
方法・答えの見直しをする。
- ・数直線を使います。
 - ・帯分数を仮分数になおします。
 - ・仮分数を帯分数になおします。

- 5 自力解決
・数直線を使って大きさを比べます。



$$\frac{7}{3} \quad \frac{2}{3}$$

- う
(33分) い。
- ・仮分数を帯分数になおします。
 $\frac{7}{3} = 2\frac{1}{3}$ だから $2\frac{2}{3}$ より小さい。

- ・帯分数を仮分数になおします。
 $2\frac{2}{3} = \frac{8}{3}$ だから $\frac{7}{3}$ より大きい。

- 6 伝え合う
それぞれの方法の代表が自分の考えを板書し、説明する。
それぞれの意見のよいところを見つける。
- ・すぐどちらが大きいかわかります。
 - ・簡単に計算だけでどちらが大きいかわかります。
仮分数にそろえて大きさを比べる時、帯分数から仮分数への直し方を説明する。
 - ・ $1 = \frac{1}{3}$ なので $2 = \frac{6}{3}$
で $2\frac{2}{3} = \frac{8}{3}$ です。
 - ・数直線では目盛り8つ分なので

仮分数を帯分数になおす方法は教科書前のページにあること、帯分数を仮分数になおすのは、 $1 = \frac{3}{3}$ をヒントに考えればいいことを確認する。

数直線を使う子には数直線をかいた用紙をかいた用紙を用意する。
比べることができない児童には、ヒントを書き込んだ数直線のプリントを配る。

- ・書き終わった子には他の方法にチャレンジしたり、わかりやすい説明を考えたりするように指示する。
単位分数のいくつ分をもとに大きさを比べることができたか。(ノート)

自分の考えた方法で説明することができたか。(発表、ノート)

- ・グループで説明を考えさせる。

研究主題とのかかわり
表し伝える活動

	$2\frac{2}{3} = \frac{8}{3}$ <p>です。</p> <p>・ $2\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ が8つ分なので</p> $2\frac{2}{3} = \frac{8}{3}$ <p>です。</p> <p>7 練習問題 教科書の問題を解く。終わった人は答えのプリントを見て付けをする。 プリントの問題を解く。</p>	<p>わからない子は隣同士で教え合う。それでもわからない子がいないか机間指導をしてまわる。</p>
<p>ま と め (5分)</p>	<p>まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>仮分数と帯分数の大きさを比べる時はどちらかにそろえて比べるとよい。</p> </div> <p>8 ふりかえり 自己評価、相互評価</p> <p>9 次時の予告</p>	<p>・なるべく、子どもたちの言葉でまとめる。子どもたちからでない時は指導者側で穴埋めのまとめを示す。</p> <p>友だちの発表や学習中のよかったところを発表させる。 (図の使い方、発表の言葉の選び方、黒板のまとめ方等)</p>

6 本時の指導 < 2組 >

(1) 目標

分数ものさしで長さを測ることにより、分数の仕組みについての理解を深められるようにする。

(2) 本時の評価規準

	具体的評価規準	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する子への支援
関心 ・意欲 ・態度	分数で表すよさに気づき、いろいろな物の長さを分数で表そうとしている。	・単元の学習内容を十分に理解しながら、分数ものさしで長さを測り、分母は違っていても等しい大きさがあることを理解できる。	・単元の学習内容を確かめながら、分数ものさしで長さを測ることができる。	・単元の学習内容を確かめながら、問題を解くが、必要に応じて個別指導したい。

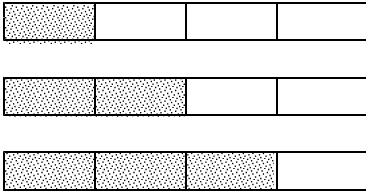
(3) 研究主題との関わり


【発展させる活動】

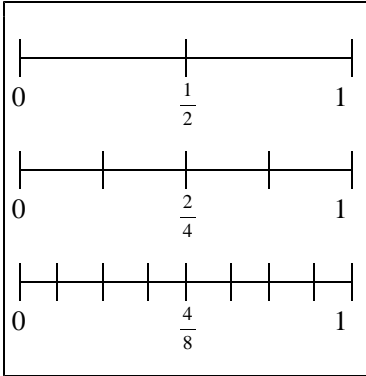
分数ものさしで長さを測る活動を通して、分数を単位にし、その何個分かで表せるものが身の周りにも存在するということを理解させたい。

また、いろいろな分数ものさしどうしを比べ、分母は違っていても等しい大きさがあることに気づかせたい。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	留 意 点	支 援	評 価
		T1		T2
つ か む 15 分	1 前時までの想起 色を塗った部分の長さを確かめる。 ・ 1/4 です。 ・ 4つに分けたうちの1つ分だから 1/4 メートルです。 ・ 2/4 メートルです。 ・ 3/4 メートルです。	分数は、等分してできた単位の大きさの何個分かで表せることを想起させる。 	・ パソコンを活用し、楽しく想起させる。 やり方の分からない子へ補足説明する。	
	2 問題提示 長方形の辺の長さを分数ものさしを利用して、計測する。	グループごとに異なる分数ものさしを用意する。 (縦計測用、横計測用)		・ 1/4 メートルの大きさを実際に提示し、次の活動に結びつける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・縦は、$1/2$メートルです。 ・縦は、$2/4$メートルです。 ・横は、$2/3$メートルです。 ・横は、$6/9$メートルです。 	<div style="text-align: center;">$\frac{2}{3}$ m</div>  <p style="text-align: center;">$\frac{1}{2}$ m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さを発表させたあと、長方形の大きさは、どのグループも等しかったことを知らせる。 	<p>縦、横の長さそれぞれを測る分数ものさしを取り違えないように注意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに測定した分数ものさしを黒板に掲示し、全員で確認したい。
	<p>3 本時の課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 分母が違って同じ大きさの分数があるか調べよう。 </div>	<p>分母は違って、等しい分数があることを感じ取らせ、分数ものさしで長さを測る活動に意欲をもたせたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント
学 び 合 う	<p>4 自力解決(グループ活動) $1/3$ mものさしや $1/9$ mものさしなど を使っているいろいろなもの の長さを測る。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 研究主題との関わり 発展させる活動 </div> <p>複数の分数ものさしで同じものの長さを測らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定したものとその長さをプリントに記録させる。 ・時間的に余裕のある班には測定結果だけでなく、測定して気づいたことも書かせたい。 <p style="text-align: center;">測ったものの長さを分数を使って表すことができたか。(発言・観察)</p>	<p>混乱を避けるため、それぞれのものさしごとにテープの色を変え、区別させるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント
23 分	<p>5 伝え合う 測ったものと長さ、気づいたことを発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・測定したものとその長さ、気づいたことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものを測るだけでなく、分数ものさしどうしを比べて、分母は違っても、等しい大きさがあることに注目させたい。

		<p>分母は違って、等しい大きさが あることに気づくことができたか。 (発言・観察)</p>	
<p>ま と め る 7 分</p>	<p>6 まとめ 本時の活動をふり返る。 ・分母が違って、同じ 長さがあったのでびっ くりしました。 ・いろいろなものの長さ を分数ものさしで測る ことができ楽しかった です。 ・1/2メートルと2/4 メートルが同じ長さだ ということが分かって よかったです。</p>	<p>・活動してみての感想を自 分の言葉でまとめさせる。</p> 	<p>児童の良かったところ やがんばりを話し、今 後の活動につなげてい きたい。</p>

6 本時の指導 < 3 組 >

(1) 目標

端数部分の大きさを、基準の量を何等分かした大きさではかることで分数の意味を知り、分数を用いた表し方を理解する。

(2) 本時の評価規準

	具体的評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する子への支援
関心・意欲・態度	1 m のテープを 3 等分した 1 分の長さを、m を単位として表す方法を考えようとしている。	・はしたの長さに関心をもち、試行錯誤を繰り返して進んで表し方を考えている	・はしたの長さに関心をもち、進んで表し方を考えている。	・テープを使って操作しその過程と結果をていねいに確認する。 ・小数では正確に表せないことを確認し、どのように表すといいのかわかるように促す。
知識・理解	1 m を 3 等分した 1 分の長さを「1 m の三分の一」といい、「 $\frac{1}{3}$ m」と書くことを理解している。	・分数を使って表すよさに気づき正しく理解している。	・分数の表し方や意味、読み方を理解している。	・プロローグの活動と結びつけ、「2 等分した 1 分」などといった考え方について理解させたい。

(3) 研究主題との関わり

【 実生活との関連に配慮した活動 】

実生活の場面を想起し、等分する操作を通して単位量と分けられた大きさの関係について理解を図りたい。

【 調べる活動 】

1 m の紙テープを等分する経験を基にして、分けられたものの大きさ（端数部分の大きさ）と基準量の関係について確かめさせる。調べたことを通して、分数の意味を知り、その表し方についての理解を図りたい。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	留 意 点	支 援 評 価
		T 1	T 2
つかむ 15分	1 生活場面の想起 p.78 の写真を見て、等しい大きさに分けることについて話し合う。 ・どれもはじめに半分にし、さらにそれを半分にしています。 ・半分の半分なので、4 等分だと思います。 ・長方形は長さで等分しますが、円や球は角度に目をつけます。	・日常生活の場面を想像しながら話ができるようにする ・「等分」の意味と用語をおさえる。	・分数説明器を用いて操作する。
	2 操作活動 紙テープや円を 4 等分する。半分にして、それをまた半分にする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 研究主題との関わり 実生活との関連に配慮した活動 </div> ・全体を意識させ、それを 4 等分していることを操作を通して確かめさせ	

	<p>3 問題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>テープで、木のまわりの長さをはかったら、1 mとあと少しはしたがありました。はしたの長さはどれくらいでしょうか。</p> </div> <p>4 本時の課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はしたの長さの表し方を考えよう。</p> </div>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等分する経験をもとに、基準量と分けられたものの大きさとの関係をとらえさせる。 ・等分した1こ分の大きさは、1よりも小さいことを確認し、次の活動に結びつける。 	<p>・テープ図</p>
<p>学 び 合 う 20 分</p>	<p>5 見通し 方法、答えを見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 mの半分(0.5 m)よりは短いです。 ・0.3 mぐらいだと思います。 ・1 mの半分の半分よりは長いです。 ・1 mを3等分した1こ分くらいかな。 ・1 mを10等分した3こ分(0.3 m)より少し長いです。 ・ぴったり合う目盛りがないので、わからない。 <p>6 はしたの長さを確かめる はしたの長さが、1 mを3等分した長さになることを確かめる。 3人でのグループ学習</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">1 m</div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 20px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 100%;"></div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="margin-right: 10px;">はした</div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px;"></div> </div> <p>7 はしたの長さを何mといえよいか考える。</p> <p>1 mのテープを3等分した1こ分の長さの表し方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3等分した1こ分m ・1 mを3等分した1こ分 ・半分のことを「二分之一」というのを聞いたことがあるから、これは「三分の一m」というのかな。 <p>分数の意味と表し方を学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 mを3等分した1こぶんの長さを「1 mの三分の一」といいます。 1 mの三分の一の長さを $\frac{1}{3}$ mと書き、「三分の一メートル」と読みます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・はしたを表すときは、小数を用いた経験があるので、そのことを想起させたい。 ・はしたの長さが小数やcm単位では表せないことを意識させる。 はしたを1 mを10等分した大きさと比較し、小数では表せないことを確かめ、その表し方が課題であることをしっかりとらえさせる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>研究主題との関わり 調べる活動</p> </div> <p>児童に1 mとはしたのテープを配布し、1 mを三つ折りさせて、はしたの長さと等しくなることを確かめさせる。あらかじめ3等分の印をつけておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、1 mをもとにするとのくらいの長さになるかを意識させ、はしたのテープが何本分で1 mになるかを気づかせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・m単位で表すことを明確にする。 ・操作の過程や1 mを等分したことを十分に意識させるように、日常語を使って様々な表現をさせる。 <p>1 mのテープを3等分した1こ分の長さを、mを単位として表す方法を考えようとしているか。(発言・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 mを3等分したことを図と関連づけ 	

		<p>て知らせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分母の3は分けた数、分子の1は1こ分の1を表していることをおさえる。 <p>1 mを3等分した1こ分の長さを「1 mの三分の一」といい、「$1/3$ m」と書くことを理解しているか。(観察)</p>	
<p>ま と め る 10 分</p>	<p>8 適用問題 1 mに満たない長さを分数で表す練習をする。 (教科書 p. 80 ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) $1/2$ mです。わけは、1 mを2等分した1こ分だからです。 ・ (2) $1/5$ mです。わけは、1 mを5等分した1こ分だからです。 ・ $1/4$ mなので、1 mを4等分した1こ分を塗ります。 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 5px 0;"></div> <p>9 まとめをする。 本時の学習で分かったことなどを自分の言葉でノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はしたの長さは、1 mを何等分かした長さの1こ分で表すことができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答えの根拠を筋道立てて言わせる。 <p>テープに表示された1 mに満たない長さを分数を用いて表したり、分数で表された長さをテープに表したりすることができるか。(ノート、教科書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗る場所は、必ずしも左端でなくてもよいことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なるべく児童の言葉でまとめたい。時間が足りなときはキーワードを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープ図 <p>児童のがんばりやよかった点を紹介し、今後の学習につなげる。</p>